学校番号	２１２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学ⅡBC 演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	新課程 教科書傍用 クリアー数学Ⅱ+B+C[数列、統計的な推測、ベクトル](数研出版) 新課程 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版) 改訂版　短期完成　統計的な推測ノート（数研出版編集部　編） 新課程　大学入学共通テスト対策　ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 演習[受験編]（数研出版編集部　編） 新課程　大学入学共通テスト実践問題集　2027　数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ演習　プレノート Half						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

年度当初は、前年度履修した数学Ｂでは扱わなかった「統計的な推測」という単元を学びます。
数学Ⅰの「データの分析」の発展的な内容に数学Ⅱで学んだ二項定理などを活用することで、統計データのより深い考察を行うことができるようになります。
その後は、主に数学Ⅱ・数学Ｂに加えて数学Ｃの「ベクトル」をより深く、より広く理解するために、問題演習を中心に授業展開を行います。
日々の復習はもちろんですが、公式が定着している前提で問題演習を行いますので、苦手な単元については公式・定理等を定着させておきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することをめざす。

- 数学Ⅱの全単元および数学Ｂの「数列」「統計的な推測」、数学Ｃの「ベクトル」で身に付けた知識と技能を定着するとともに、それらを用いて、数学的により高度な表現・処理ができる技能を身に付けるようにする。
- 数学的な事象を論理的・発展的に考察する力、これまで身に付けた数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度､問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとする態度や創造性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	既習の内容で学んだ公式や定理、性質等を正しく理解し、適切な場面で活用することができる。	事象に対して数学的なアプローチを試み、それを表現することができる。 また、解答に至るまでの過程を丁寧に説明または記述することができる。	設問に対して授業で扱う解法とは別の方法を見出し、論理的に表現しようとする。 また、他の単元との関連性を考察しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	統計的な推測	・確率分布 ・二項分布と正規分布 ・統計的な推測 ・推定と仮説検定	a:確率変数と確率分布の性質を理解することができる。また二項分布と正規分布の性質や特徴を理解し、区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。 b:確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均・分散・標準偏差を用いて考察することができる。 c: 標本調査や仮説検定の有用性や問題点を、コンピュータ等の情報機器を用いて処理し、考察しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	やり直し課題
2学期	数学Ⅱ	・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数と対数関数 ・微分法と積分法	a:左記の単元における諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b:与えられた条件を正しく理解し、その条件を考慮に入れた論述を行うことができる。 c:等式または不等式を２つの関数ととらえ、グラフによる考察を行おうとする。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	予習課題

	数学B	・ 数列	a:単元「数列」における諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b:漸化式と一般項の特性を理解し、必要に応じて立式することができる。 c:類推や試行錯誤を行い、数学的論理的な記述による補完を行おうとする。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	予習課題
	数学C	・ ベクトル	a: 左記の単元における諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b: c:数学Ⅱの単元「図形と方程式」で学んだ内容と、位置ベクトルやベクトル方程式との関連性を考えようとする。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	予習課題
3学期	総合演習	数学Ⅱ・B・C 総合演習	a:各単元の諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b:問題の意図を正しく理解し、既習内容を活用してその解決を行うことができる。 c:問題に関わる事象を多面的に考え、その意図を考察しようとする。	提出課題	提出課題	予習課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度